

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月22日更新

事務事業名	合志市移住支援事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画	政策	6	産業の健康			所属部	市長公室	課長名	松田 勝
計画	施策	28	企業誘致の促進と働く場の確保			所属課	企画課	担当者名	渡邊 光
体系	施策の柱	75	雇用環境の充実支援と就業機会の確保			所属班	企画広報班	(内線)	1257
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 13	事業連番 11767	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 31 ~ 6 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	東京23区に直近5年間在住、または通勤していた者が、熊本県が構築するマッチングサイトに登録された企業に就職し、合志市へ移住してくる場合に支援金を交付する事業である。 ※2019年度の秋頃に制度を開始予定。今後、2024年度まで事業予定。
【業務の流れ】	・参加企業へのマッチングサイトへの登録の呼びかけ ・移住者からの申請→審査・処分
【主な予算費目】	【補助率3/4】2人以上の家族世帯100万円、単身世帯60万円支援する事業。 ・H31年度は家族世帯 2件計上
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
熊本連携中枢都市圏において移住支援事業の啓発用パンフレット作成したため負担金の支出を行った。また、熊本県より転入者を対象とした移住に関するアンケート調査依頼があったため、市民課の協力を得てアンケート調査を実施した。	市内企業へ事業の周知を行う。 市民課アンケートを通じて見込み数の把握を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 市内企業への周知	実績に伴う移住申請者見込数の減による補助金の減、連携中枢都市移住支援事業負担金の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
事業に関連した移住者、マッチングサイトに登録された企業	(単位) 回
	→ ア: 相談件数(移住希望者)
	イ: 市内企業の登録数
	社
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
事業を通じた移住者の増加、マッチングサイトを通じた市内企業への就職	(単位) 人
	→ ア: 移住者(事業利用者)
	イ: マッチングサイトに登録された市内企業への移住支援制度利用者の就職者数
	人
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠	
安定して働ける環境を整える	
総トータルコスト 全体計画 ~6年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	31年度		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	見込			
① 活動指標	ア 回		1	2	0	2	2	2	2	2	2	2	2
	イ 回		0	5	3	5	5	5	5	5	5	5	5
② 対象指標	ア 社		1	10	1	15	20	25	30				
	イ 社												
③ 成果指標	ア 人		0	2	0	2	2	2	2	2	2	2	2
	イ 人		0	2	0	2	2	2	2	2	2	2	2
投資入費量	国庫支出金	千円						1,500	1,500	1,500			
	都道府県支出金	千円		2,250		1,500							
	地方債	千円											
	その他	千円											
	繰入金	千円											
	一般財源	千円		950	200	500	500	500	500	500			
	(A) 事業費計	千円		0	3,200	200	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000		
	(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0	0	0		
	(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0	0	0		
	正規職員従事人数	人		4	2	0	2	2	2	2	2		
延べ業務時間	時間		370	48	0	48	48	48	48	48			
(B) 人件費計	千円		1,466	191	0	191	191	191	191	191			
トータルコスト(A)+(B)	千円		1,466	3,391	200	2,191	2,191	2,191	2,191	2,191			

事務事業名	合志市移住支援事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	-----------	-----	------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は 2 年度の事後評価、ただし複数年度事業は 2 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2 年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒ 【原因】 移住者の申請がなかったため
	② 3 年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 県が対象者に対して、PR活動を行っているため <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒ 【理由】 対象となる転入者の人数次第であるため <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒ 【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒ 【理由】 類似事業がないため
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由】 補助額が決まっているため <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由】 申請を受け付け、処理を行うので簡素化できない
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒ 【理由】 移住者への補助金であり、平等である
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒ 【理由】 県下の全市町村で行う事務のため、行政が役割を担うものである。

3 評価結果の総括 (CHECK)

熊本連携中枢都市圏において移住支援啓発パンフレットを作成し、市のPRを行った。移住支援金の要件を満たす転入者がいなかったため、移住支援金の交付実績はなかった。引き続き移住支援金を活用した移住促進を行う必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						